

第4 外来医師偏在指標の算定

1 外来医師偏在指標の考え方

外来医療計画では、対象区域ごとに、外来医療機能の偏在・不足等を客観的に可視化する指標として「外来医師偏在指標」を算定します。

外来医師偏在指標は、外来医療サービスの主な提供主体である診療所医師を基に算出することとし、地域ごとの医療ニーズや人口構成等を反映させるため、次の4つの要素を勘案した人口10万人対診療所医師数とします。

- ① 医療需要及び人口構成とその変化
- ② 患者の流出入等
- ③ 医師の性別・年齢分布
- ④ 医師偏在の種別（入院／外来）

2 算定方法

外来医師偏在指標は、外来医療機能の偏在等を客観的に可視化する指標として、厚生労働省が定めた以下の算定式を用いて、全国で統一的に算出することとされています。

外来医師偏在指標 =

$$\frac{\text{標準化診療所医師数}(\ast 1)}{\left(\frac{\text{地域の人口}}{10 \text{ 万}} \times \text{地域の標準化受療率比}(\ast 2)\right)} \times \text{地域の診療所の外来患者対応割合}(\ast 3)$$

※1（要素③を勘案）

$$\text{標準化診療所医師数} = \sum \text{性年齢階級別診療所医師数} \times \frac{\text{性年齢階級別平均労働時間}}{\text{診療所医師の平均労働時間}}$$

※2（要素①を勘案）

$$\text{地域の標準化外来受療率比} = \frac{\text{地域の外来期待受療率}}{\text{全国の外来期待受療率}}$$

$$\text{地域の外来期待受療率} = \frac{\sum (\text{全国の性年齢階級別外来受療率} \times \text{地域の性年齢階級別人口})}{\text{地域の人口}}$$

※3（要素④を勘案）

$$\text{地域の診療所の外来患者対応割合} = \frac{\text{地域の診療所の外来延べ患者数}}{\text{地域の診療所+病院の外来延べ患者数}}$$

3 外来患者流出入の調整

外来医師偏在指標の算定にあたり、要素②（患者の流出入等）を勘案する方法として、厚生労働省から次の2つの方法が示されています。

①「昼間人口」

患者の流出入を見込まず、通常、日中に所在する地域内で受診するものと仮定して算定

②「患者流出入」

患者の流出入を現状のまま見込んで算定

外来医療はできるだけ身近な医療機関を受診することが望ましく、この外来医療計画が外来医療機能の偏在の解消につなげていくことを目的としていることに鑑みれば、現状の流出入の状況を前提とした指標を用いることは、本計画の趣旨にそぐわないことから、「昼間人口」を活用することとしました。

また、必要に応じ都道府県間の患者の流出入を協議、調整することとなつていますが、流出入がわずかであることから、他都府県との協議、調整は行わないこととしました。

4 算定結果

対象区域ごとの外来医師偏在指標は次のとおりです。

対象区域	外来医師偏在指標	(参考)患者流出入で試算した指標	(参考)人口10万対診療所医師数
南渡島	92.1	89.0	72.2
南檜山	62.8	96.5	21.3
北渡島檜山	65.9	98.0	19.4
札幌	119.7	114.3	78.1
後志	99.8	113.6	76.1
南空知	88.6	102.2	63.1
中空知	85.9	90.0	41.6
北空知	92.0	114.2	63.0
西胆振	84.1	82.8	57.3
東胆振	76.2	76.8	53.6
日高	69.8	96.6	42.7
上川中部	102.4	95.8	70.4
上川北部	83.7	90.5	35.9
富良野	61.1	69.3	33.1
留萌	70.5	83.3	42.7
宗谷	62.2	77.4	23.1
北網	76.0	74.7	43.5
遠紋	94.3	118.3	27.4
十勝	70.7	71.4	46.7
釧路	65.4	62.5	40.2
根室	60.4	78.8	19.7

5 外来医師多数区域の設定

外来医師偏在指標の値が全国の二次医療圏（335 圏域）の中で上位 33.3%に該当する二次医療圏を「外来医師多数区域」に設定し、相対的に診療所が多い地域を客観的に可視化することとされています。

道内においては、札幌圏域が外来医師多数区域に設定されました。

6 算定結果の活用

外来医師偏在指標は、一定の仮定の下、入手可能なデータを基に、全国で統一的に算出されるものであることから、外来医師の過不足を示す絶対的な指標ではなく、外来医師の偏在の状況を表し得る参考的な指標として捉えることが適当です。

また、外来医師偏在指標には、病院で外来を担当する医師数や病院の外来を受診する患者数が考慮されていませんが、中には病院が中心的に外来医療を担っている地域もあり、こうした地域では、病院と診療所における機能分担のあり方などについて議論する必要があります。